

抜型のショット数をクラウド管理。突然の製造停止を未然に防ぐ

抜型ショット数管理システム

特徴

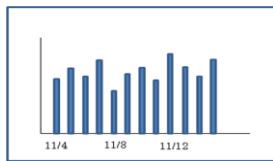
◇自動的に抜型のショット数を収集

RFIDリーダーが抜型ごとのショット数を自動計測し、抜型のIDとショット数をクラウドへ無線送信します。

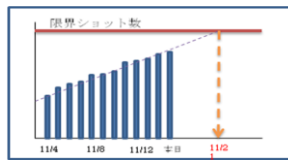
◇抜型の交換予想日通知

抜型の使用傾向や総ショット数を閲覧できます。
事前に抜型の交換日を予想します。

ショット数を確認



交換予定日をチェック



発注



◇抜型メーカーからの提案

抜型のショット数情報は抜型メーカーと共有するため、メーカーからの提案を受けられます。



抜型メーカーからお客様へ
「そろそろ新しい抜型を用意
しておきませんか？」

ハードウェア構成

◇RF タグ

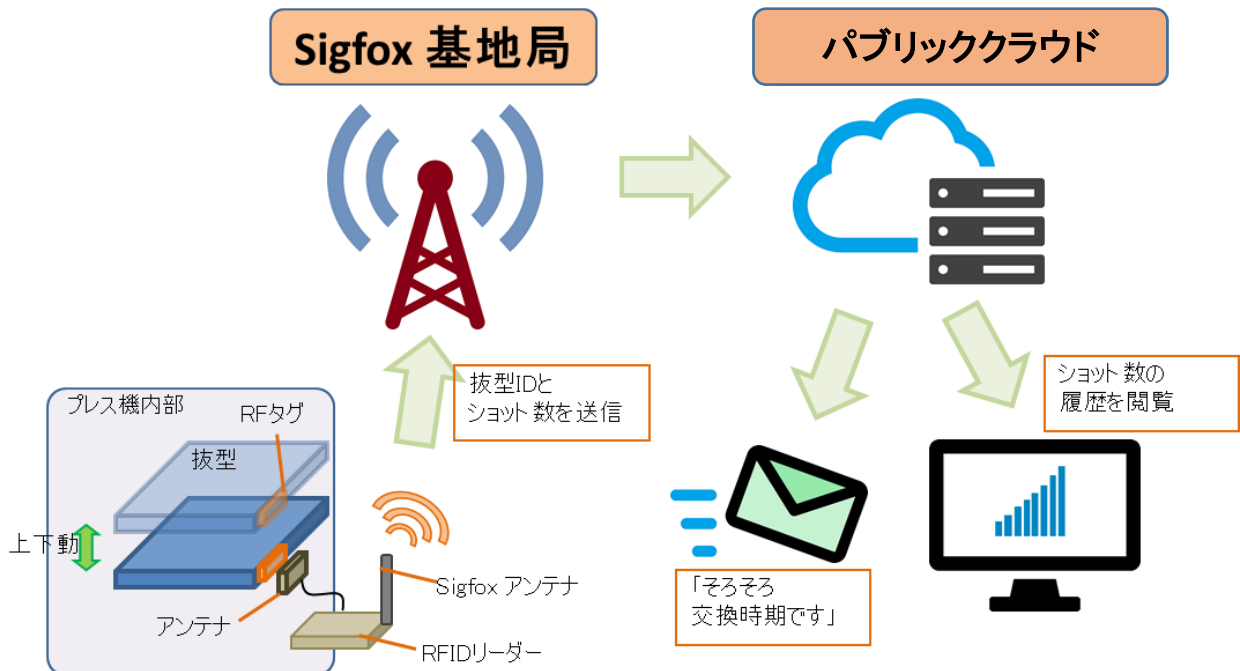
抜型に RF タグを貼ります。

◇RFID リーダーとアンテナ

RFID リーダーはプレス機の傍に設置します。

アンテナは抜型が下降(上昇)したときに RF タグが近づく位置に配置します。

システム構成



共創パートナー



株式会社アートテクノロジー

株式会社アートテクノロジー
クラウドサービス担当



株式会社アートファイネックス
RFID システム・ソリューション担当

問合せ先



株式会社ノダ

〒544-006 大阪市生野区中川東 2-2-15
<https://www.kigataya.com/> noda@kigataya.com